

【公表用】

## 令和2年度 第1回レイヤー種鶏導入および素ひな計画生産の概要

月 日 : 令和2年7月9日(木)

場 所 : 馬事畜産会館 会議室

### 1 レイヤー種鶏導入調査結果

この調査は令和2年5月末現在の種鶏導入実績(令和元年次と令和元年度)及び種鶏導入計画(令和2年次と令和2年度)について、全国のレイヤー孵卵場23場(前回23場)からの統計データを集計したものである。

### 2 種鶏導入計画羽数(令和2年次と令和2年度)(表1)

令和2年次の種鶏導入計画羽数(調査報告)は、111万7,190羽と令和元年次実績109万680羽に比べて2.4%増と計画されている。

年度ベースでは、令和2年度は110万250羽と元年度の108万8,820羽に比べて1.0%増の計画となっている。

地域別に見ると、年次ベースでは、東日本が前年より4.8%増(元年次63万5,300羽⇒2年次66万5,700羽)であるが、年度ベースでは逆に2.3%減(元年度66万2,400羽⇒2年度64万7,100羽)となっている。

中部は、年次ベースでは前年より3.3%増(元年次28万1,980羽⇒2年次29万1,150羽)であり、年度ベースでも同様に22.1%増(元年度24万8,680羽⇒2年度30万3,650羽)となっている。

一方、中四国・九州は、年次ベースでは、前年より7.5%減(元年次17万3,300羽⇒2年次16万340羽)であり、年度ベースでも同様に15.9%減(元年度17万7,740羽⇒2年度14万9,500羽)となっている。

この調査羽数をもとに令和2年次及び令和2年度の全国種鶏羽数を推計すると令和2年次が119万6,000羽(前年次118万5,000羽に対して0.9%の増加(羽数ベース+11,000羽))、令和2年度が119万0,000羽(前年度116万9,000羽に対して1.8%の増加(羽数ベース+21,000羽))が見込まれる。(表1-令和2年推計\*)

(\*1) カバー率による指数

(A) 令和元年次の(一社)日本種鶏孵卵協会調べの国内産種鶏雌導入羽数と農林水産省動物検疫所による輸入初生ひなの輸入実績(卵用種鶏)をあわせた羽数は、118万5,000羽(元年度ベースでは、116万9,000羽)。

(B) 種鶏導入調査による令和元年次の導入羽数実績は109万680羽。

(元年度ベースでは、108万8,820羽)。

(C) カバー率(B) / (A) = 92.0%(年度ベースでは、93.1%)

(D) 指数(A) / (B) = 1.086478(年度ベースでは、1.073639)

### 3 令和2年次及び令和2年度の採卵用素ひな生産見込み（出荷能力） （表2）

令和2年次における素ひなの出荷羽数を推計すると、1億1,366万羽（前年次より0.8%減）となり、年度では1億1,288万羽（前年度より1.9%減）となっている。

一方、令和2年次の商業のえ付け羽数は、1.7%増の1億945万羽（表2のM欄）と推計される。

（\*）生産見込みを算定する指標

採卵用素ひなの生産見込みを算定する指標は、種鶏の育成率97%、供用期間308日（44週）、種鶏1羽当たり素ひな生産羽数は白玉鶏が100.9羽、赤玉鶏は91.2羽、ピンク玉鶏は104.6羽とした。

### 4 卵殻色別種鶏導入羽数（表3）

令和2年次の卵殻色別種鶏導入計画を令和元年次の実績羽数と比較すると、白色卵は年次ベースでは前年に比べ7.2%増（年度ベースでは0.9%増）、褐色卵は年次ベースでは0.1%減（年度ベースでは4.5%減）、ピンク卵は年次ベースでは20.9%減（年度ベースでは28.0%増）の見込み。

卵殻色別種鶏導入羽数割合は、年により大きく変動しているが、令和2年次には、白色卵の羽数割合が64.5%（元年次61.6%）、褐色卵は、29.0%（同29.9%）、ピンク卵は6.5%（同8.5%）となっている。

### 5 素ひな・種卵の需給動向

（1）令和2年次の種鶏導入計画羽数見込みは、111万7,190羽と令和元年次実績109万680羽に比べて2.4%増加する見込みであり、年度で見た場合では、令和2年度が110万250羽と元年度の108万8,820羽に比べて1.0%増加する見込み。

（2）令和2年次の素ひなの出荷羽数を推計すると、1億1,366万羽（前年次より0.8%減）となっており、年度で見た場合は1億1,288万羽（前年度より1.9%減）となっている。

一方、令和2年次の商業のえ付け羽数を、6月以降の餌付け羽数を前年同月並みと仮定すると、1.7%増の1億945万羽（表2のM欄）と推計され、年次トータルでは、420万羽の余力が見込まれ、年度ベースでも、343万羽の余力が見込まれる。

6 今回の調査にご協力いただいたレイヤー孵卵場は次のとおりです。（順不同）ここに厚く御礼申し上げます。

北海道・東北（3）

小岩井農牧(株)小岩井農場、(有)岩村ポーター北海道事業所、(有)黎明舎種鶏場

関東甲信越（8）

千葉孵化場(株)、(株)小松種鶏場、(株)I・ひよこ、(有)岩村ポーター、(株)トマル、  
神奈川県養鶏経済農業協同組合連合会、(株)カントウ、イセファーム(株)

中 部（5）

とりっこ倶楽部“ホシノ”、日本レイヤー(株)、(株)大畑シェーバー孵化場、  
(株)後藤孵卵場、(株)三重ヒヨコ

四国・九州（7）

(有)新延孵化場、マルイファーム(株)、(資)琉球孵卵場、(株)梶原種鶏孵化場、(株)坪井種  
鶏孵化場、アミューズ(株)、(株)後藤孵卵場九州営業所

(表1) レイヤー種鶏導入調査集計表(令和2年6月調査)

単位：羽、%

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期計	年計	1月	2月	3月	3ヶ月計	年度計	
東日本	9	令和元年実績	10,000	61,000	66,600	61,000	65,000	47,000	310,600	82,100	26,000	23,000	89,000	61,600	43,000	324,700	635,300	38,200	80,000	46,500	164,700	662,400
		令和2年計画	38,200	80,000	46,500	55,000	63,500	89,100	372,300	36,000	45,500	42,000	47,500	73,000	49,400	293,400	665,700	84,000	54,600	7,500	146,100	647,100
		前年比	530.0%	104.9%	82.3%	104.7%	70.1%	245.4%	119.9%	13.4%	217.6%	0.0%	70.1%	86.0%	128.0%	90.4%	104.8%	120.8%	86.9%	14.0%	88.7%	97.7%
中部	5	令和元年実績	45,000	7,500	36,700	28,500	400	64,000	182,100	6,500	20,500	7,000	0	58,380	7,500	99,880	281,980	26,000	21,000	8,900	55,900	248,680
		令和2年計画	26,000	21,000	8,900	53,000	20,000	23,000	151,900	5,300	12,200	57,000	24,000	750	40,000	139,250	291,150	17,900	50,500	0	68,400	303,650
		前年比	57.8%	280.0%	24.3%	221.1%	3250.0%	31.3%	83.4%	267.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%	960.0%	139.4%	103.3%	34.2%	266.7%	0.0%	122.4%	122.1%
中四国・九州	7	令和元年実績	20,000	14,000	3,100	20,200	37,000	0	94,300	3,000	11,000	40,100	3,000	10,000	12,000	79,100	173,400	0	26,500	14,940	41,440	177,740
		令和2年計画	0	26,500	14,940	16,000	9,000	11,000	77,440	17,000	0	12,100	25,300	0	28,500	82,900	160,340	9,000	15,500	6,100	30,600	149,500
		前年比	0.0%	189.3%	244.9%	82.4%	24.3%	0.0%	82.1%	683.3%	0.0%	30.2%	843.3%	0.0%	312.5%	104.8%	92.5%	0.0%	0.0%	0.0%	73.8%	84.1%
全国	21	令和元年実績	75,000	82,500	106,400	109,700	102,400	111,000	587,000	91,600	57,500	70,100	92,000	129,980	62,500	503,680	1,090,680	64,200	127,500	70,340	262,040	1,088,820
		令和2年計画	64,200	127,500	70,340	124,000	92,500	123,100	601,640	58,300	57,700	111,100	96,800	73,750	117,900	515,550	1,117,190	110,900	120,600	13,600	245,100	1,100,250
		前年比	105.3%	135.2%	71.7%	131.5%	65.9%	131.3%	102.5%	53.4%	97.9%	284.8%	84.6%	45.5%	235.1%	102.4%	102.4%	92.3%	114.0%	13.7%	93.5%	101.0%
		令和2年推計*	千羽			*	*		*	*	*	*	*	*		100.9%	千羽*	*	*		101.8%	
			66	131	75	130	100	134	636	63	63	121	105	80	128	560	1,196	120	131	15	266	1,190
参考		令和元年統計 (協会調べ)	千羽														千羽					
			93	98	97	123	84	134	629	84	75	94	97	126	80	556	1,185	66	131	75	272	1,169

(注1) 平成31年1月～令和元年12月は実績値（(一社)日本種鶏卵協会調べ）

(注2) 令和元年実績カバー率(1,090,680/1,185,000=92.0405%)。

(注3) 令和2年推計\*は修正係数(1,185,000/1,090,680=1.086478)を令和2年計画羽数に乗じた羽数。

(表2) レイヤー 種鶏導入結果と素ひな生産能力 (令和2年6月調査)

一般社団法人 日本種鶏卵協会

(調査回答羽数によって作成)

種 鶏 飼 付	種 鶏 飼 付 羽 数 (千羽)							素 ヒ ナ の 出 荷 能 力 (千羽)							コ マ ー シ ャ ル 飼 付 羽 数 (千羽)			備 考	
	A		B		C			E		F			G			L	M		N
	国内産	輸入	統計(A+B)	白	赤	ピンク	調査羽数(導入調査)	回答	前年比	飼付年月	生産月	白	赤	ピンク	計	飼付月	飼付統計		前年比
H30年1月	90	0	90	54	27	9	74	85.1	28/9 ~ 29/6	H30/1	6,099	2,754	1,049	9,902	H30/1	9,387	101.2		
2	71	0	71	43	21	7	71	58.2	10 ~ 7	2	5,448	2,453	934	8,835	2	9,034	109.1		
3	87	32	119	71	36	12	101	131.2	11 ~ 8	3	6,054	2,714	1,036	9,804	3	9,940	102.0		
H29年度	1,070	104	1,174	704	352	117	1,040	93.1			70,616	31,729	12,074	114,420		110,328	102.1		
H30年4月	113	16	129	77	39	13	124	114.8	12 ~ 9	4	5,820	2,607	994	9,421	4	9,503	104.3		
5	75	24	99	59	30	10	88	118.9	29/1 ~ 10	5	6,056	2,700	1,032	9,788	5	10,035	111.1		
6	92	0	92	55	28	9	88	75.9	2 ~ 11	6	5,928	2,643	1,009	9,580	6	9,193	94.2		
7	112	5	117	70	35	12	108	136.7	3 ~ 12	7	5,911	2,641	1,004	9,557	7	9,902	111.4		
8	85	0	85	51	26	9	76	102.7	4 ~ 30/1	8	5,828	2,603	991	9,422	8	8,723	104.6		
9	71	10	81	49	24	8	74	69.8	5 ~ 2	9	5,510	2,456	936	8,901	9	8,897	98.7		
10	101	0	101	61	30	10	104	150.7	6 ~ 3	10	5,831	2,602	990	9,423	10	9,972	108.1		
11	110	0	110	66	33	11	98	130.7	7 ~ 4	11	5,771	2,588	981	9,341	11	9,690	101.8		
12	95	0	95	57	29	10	101	108.6	8 ~ 5	12	6,032	2,715	1,028	9,775	12	8,709	95.9		
H30年計	1,102	87	1,189	713	357	119	1,107	102.5			70,289	31,476	11,984	113,748		112,985	103.4		
H31年1月	93	0	93	56	28	9	75	101.4	29/9 ~ 30/6	H31/1	6,042	2,727	1,034	9,804	H31/1	9,706	103.4		
2	84	14	98	59	29	10	84	118.3	10 ~ 7	2	5,527	2,498	951	8,976	2	8,293	91.8		
3	75	22	97	58	29	10	105	104.0	11 ~ 8	3	6,053	2,736	1,045	9,834	3	8,996	90.5		
H30年度	1,106	91	1,197	718	359	120	1,125	108.2			70,310	31,517	11,994	113,822		111,619	101.2		
H31年4月	123	0	123	74	37	12	133	107.3	12 ~ 9	4	5,730	2,579	989	9,298	4	9,227	97.1		
R元年5月	83	1	84	50	25	8	92	104.5	30/1 ~ 10	R元/5	5,977	2,677	1,030	9,684	R元/5	9,363	93.3		
6	114	20	134	91	31	12	112	127.3	2 ~ 11	6	5,886	2,633	1,015	9,533	6	8,292	90.2		
7	84	0	84	64	21	0	92	85.2	3 ~ 12	7	6,092	2,726	1,054	9,872	7	9,843	99.4		
8	65	10	75	52	18	5	57	75.0	4 ~ 31/1	8	5,953	2,664	1,027	9,644	8	7,968	91.3		
9	79	15	94	37	41	14	82	110.8	5 ~ 2	9	5,684	2,543	982	9,209	9	9,005	101.2		
10	97	0	97	77	20	0	103	99.0	6 ~ 3	10	5,925	2,645	1,023	9,593	10	8,966	89.9		
11	126	0	126	72	32	21	163	166.3	7 ~ 4	11	5,836	2,608	1,003	9,447	11	9,593	99.0		
12	65	15	80	43	37	0	27	26.7	8 ~ 元/3	12	6,014	2,655	1,019	9,688	12	8,360	96.0		
R元年計	1,088	97	1,185	733	349	102	1,125	101.6			70,719	31,692	12,171	114,582		107,612	95.2		
R2年1月	66	0	66	40	20	7	72	96.0	30/9 ~ 元/6	R2/1	6,353	2,670	1,013	10,036	R2/1	10,152	104.6		
2	110	21	131	79	39	13	112	132.7	10 ~ 7	2	6,025	2,436	875	9,336	2	8,509	102.6		
3	75	0	75	45	23	8	66	63.2	11 ~ 8	3	6,297	2,518	897	9,712	3	10,112	112.4		
R元年度	1,087	82	1,169	723	344	100	1,111	98.7			71,771	31,356	11,926	115,052		109,390	98.0		
R2年4月	130	0	130	78	39	13	144	108.3	30/12 ~ 元/9	4	5,905	2,471	862	9,238	4	9,292	100.7		
5	*	*	100	60	30	10	56	60.3	31/1 ~ 10	5	6,261	2,506	845	9,612	5	9,363	100.0		
6	*	*	134	80	40	13	135	120.2	2 ~ 11	6	6,153	2,467	883	9,503	6	8,292	100.0		
7	*	*	63	38	19	6	49	53.2	3 ~ 12	7	6,137	2,578	830	9,545	7	9,843	100.0		
8	*	*	63	38	19	6	56	97.4	4 ~ 2/1	8	5,967	2,537	811	9,315	8	7,968	100.0		
9	*	*	121	73	36	12	114	139.3	元/6 ~ 2	9	5,808	2,489	803	9,099	9	9,005	100.0		
10	*	*	105	63	32	11	96	93.5	6 ~ 3	10	5,951	2,588	842	9,381	10	8,966	100.0		
11	*	*	80	48	24	8	50	30.6	7 ~ 4	11	5,720	2,587	853	9,159	11	9,593	100.0		
12	*	*	128	77	38	13	140	518.1	8 ~ 5	12	5,989	2,762	970	9,722	12	8,360	100.0		
R2年計	*	*	1,196	718	359	120	1,089	96.8			72,567	30,609	10,484	113,660		109,455	101.7		
R3年1月	*	*	120	72	36	12	62	86.0	元/9 ~ 2/6	R3/1	6,187	2,856	1,011	10,054	R3/1	10,152	100.0		
2	*	*	131	79	39	13	127	114.0	10 ~ 7	2	5,485	2,461	870	8,816	2	8,509	100.0		
3	*	*	15	9	5	2	11	16.0	11 ~ 8	3	5,784	2,673	985	9,442	3	10,112	100.0		
R2年度	*	*	1,190	714	357	119	1,038	93.5			71,348	30,974	10,565	112,888		109,455	100.1		

注) \*は推計値

※L素ひな生産能力指標(新)  
 \*種鶏供用期間  
 308日(44週;25~68週齢)  
 \*種卵の平均採取率:  
 白93.0%、赤92.4%、ピンク94.3%  
 \*種鶏1羽当たり種卵個数:  
 白249.8個 赤226.4個 ピンク240.9個  
 \*種鶏1羽当たりひな生産:  
 白100.9羽 赤91.2羽 ピンク104.6羽  
 \*C欄のR2年5月~R3年3月の種鶏♀羽数は推計値  
 白:赤:ピンク=6:3:1にて羽数を算出  
 ただし、R元年6月から12月は色別導入実績調査より  
 ※M欄の令和2年5月以降のえ付け羽数は  
 前年並みと仮定。

